



北谷町まちづくりにおける 国有地の活用 ～北谷町立博物館完成～

令和6年11月19日、北谷町に対し売却した国有地（旧キャンプ桑江北側地区返還財産）に、町立博物館が完成し開館記念式典が行われました。北谷町では、町の歴史・文化・自然の継承・発信が課題となっていました。この度、国指定史跡の伊礼原遺跡に隣接して同町で初となる博物館を整備しました。

博物館は縄文時代の自然環境や暮らしを紹介した常設展示室のほか、歴史・文化・自然に関する書籍を備え、全国的にも珍しいクジラの骨格標本を展示したエントランスホール「北谷ウナ」などで構成されています。今後、町民や観光客などの利用が見込まれ、北谷町西海岸の観光地とも連携しながら、観光や地域のまちづくりのための活用が期待されています。

財務部は、引き続き地域の課題に対し国有財産の有効活用に取り組み、地域貢献に努めてまいります。

お問合せ先

財務部 統括国有財産管理官

☎098-866-0097



常設展示室



開館記念式典テープカット



高校生が財務大臣となって 予算編成！ ～in中部農林高等学校～

財務部では、小中学校、高校向けの出前授業として、タブレット等を活用した予算編集シミュレーションなど、アクティブラーニングを取り入れた「財政教育プログラム」を実施しています。今号では、令和6年10月26日、沖縄県立中部農林高等学校定時制の4年生（17名）を対象に行った出前授業をご紹介します。

（自分の将来のために） 日本の未来について考える

授業は、「日本の未来について考える」をテーマに、身近な公共サービスや公共施設の整備のため、税金や保険料を納める必要があることを説明し、令和6年度の歳入と歳入のうち、どの分野でどれくらいの予算が使われているのか、どのように予算を集めているのかを生徒たちに考えてもらいました。

予算編成シミュレーション

その後、生徒たちには複数のグループに分かれて、どのような社会にしていきたいのかテーマを決め、歳入を増やすための方策や歳入の充実と抑制について意見を出し合いながら、先生や財務部の職員も生徒たちと一緒に、日本の予算を編成するシミュレーションを行いました。

グループ毎の発表では、「教育分野の予算を増やすことにより、質の高い教育

を受けた子供たちが、日本の未来を良い方向へ引っ張ってくれる」、「子育てのしやすい環境を整えることで少子化を解消する」といった意見がありました。

生徒たちからの声

生徒たちからは、「財政について興味を持った」、「予算編成を通じて、自分ができるような社会を実現したいのか考えるきっかけになった」、「財政は自分の将来と関係していることがわかった」などの感想がありました。

今回、受講した生徒のほとんどが18歳以上の成人で、昼間は働いている生徒も多く、消費税や所得税の説明に熱心に耳を傾ける様子が見られました。財務部では、今後も教育機関と連携し、若年層に向けた出張授業を実施していく予定です。



財務部職員による
財政授業の様子



グループワーク（予算編成）で
議論する生徒たち

お問合せ先

財務部 財務課（地域連携担当）

☎098-866-0091